

株式会社ジュピターテレコム  
2006年12月期第3四半期決算説明会  
質疑応答（要約）

開催日：平成18年10月26日  
開催場所：東京商工会議所 国際会議場

**Q KDDI と東京電力が提携したことにより、関東圏では J:COM との競合が以前より激化すると思われますが、事業への影響についてどのようにみていますか。**

A 当社グループは電話サービスを提供していますので、大手通信事業者とは以前から競合しています。これからは大手通信事業者がテレビサービスに参入してきますが、規模においては当社グループよりはるかに大きいので、当社グループとしては差別化したサービスを提供していくことが鍵となります。重要なことは、同じ土俵で戦わないことです。つまり、値段で勝負するのではなく、サービスの付加価値を高めていくことが肝心だと思います。また、当社グループは地域に密着して事業を展開していますので、お客様に加入していただいた後も、きめ細かいアフターサービスやフォローができる立場にあります。このように商品やサービスを差別化することで今後の競合に打ち勝っていく考えです。

**Q J:COM がケーブルテレビ事業者の M&A を進めていく上で、関東圏において KDDI と競合する可能性はありますか。**

A 当社グループとしましては、私どもが期待するケーブルテレビ事業者と肅々と話し合いをして、J:COM グループと連携していただけるよう努力を続けたいと考えています。

**Q 現在サービスを提供している 4 つの地域以外の、例えば中部地方などにおける M & A についてはどう考えていますか。**

A 現時点では当社グループのサービスエリアに隣接している地域を中心に考えています。

**Q FMC (Fixed Mobile Convergence。固定電話サービスと携帯電話サービスの融合) サービスの商用化は既に決まっているのですか。また、大手携帯電話事業者との提携の可能性もあるのですか。**

A 現在実施中の試験結果を見て、今後商業化するかどうかを決める計画です。また、当社グループがどのような事業展開をするかについては、今後半年ぐらいかけて決める必要があると思っています。

**Q 今後の携帯電話事業について、どのような選択肢がありますか。またその際の課題や決定のためのポイントについて教えてください。**

A 今後、携帯電話は単なる電話機能だけではなくて、クレジットカードとか、いろいろな機能が追加されていきます。このような将来の展開等も考えた場合に、単独の事業者と組むのがいいか、あるいは複数の事業者と提携し、いろいろな機能をお客様のニーズによって選択できるサービスがいいのか、そういうことも含めて検討して行きたいと思っています。

**Q ケーブルウエスト㈱の第4四半期のOCF(Operating Cash Flow)の見込みを教えてください。**

A おおよそ20億円台と予想しています。

**Q ケーブルウエスト㈱にかかわる連結調整の内容について教えてください。**

A ケーブルウエスト㈱の連結調整については二種類あり、1つ目が内部取引の消去です。これは当社の連結子会社である関西マルチメディアサービス㈱との取引につき、内部取引として消去するもので、その分ケーブルウエスト㈱の営業収益が少なくなります。もう一つはお客様関連の無形固定資産を営業権から分離して評価し、償却するものです。

**Q その無形固定資産の償却と関西マルチメディアサービス㈱との内部取引の金額はそれぞれどれぐらいで、無形固定資産の償却は何年ででしょうか。**

A 無形固定資産につきましては、現在精査中でまだ確定していませんが、償却期間は約10年を予定しています。ケーブルウエスト㈱の関西マルチメディアサービス㈱との内部取引金額は、第4四半期に5億円程度を見込んでいます。